

くれない News

和歌山大学教職員組合

[内線]7989 [tel/fax]073-452-3671

[mail]wakumi@cypress.ne.jp

[HP]http://www.cypress.ne.jp/wakumi/

第1号 2011年6月9日(木)

春の団体交渉 報告 (概要版)

組合執行委員会では、4月25日、大学に対して下記事項について団体交渉を申し入れました。これを受けて大学側から交渉日時のご提案があり、5月25日(水)に事務サイドとの予備交渉、6月2日(木)に学長、総務担当理事との団体交渉を行いました。以下に交渉結果の概要を報告いたします。(詳細については「くれない」本紙にてお知らせします。)

1. 今後、人事院勧告に準拠する場合を含み、給与改定が示される場合、経営協議会や役員会などで結論を出す前に、教職員組合および過半数代表との協議を行い、合意形成を図るため十分な期間を設けること。

→昨年の賃金改定の経緯について、お互いの認識を示し、反省点などについて議論した上で、昨年度も同様の努力が行われたことを確認し、今年度の方向性として合意！

2. 家族や就職先などが震災のために被害を受けた者の救済措置について、すでに実施されている学生・院生支援(入学金、授業料減免など)の他、…(略)…総合的な救済措置の実施に向け努力すること。

→大学としては、和歌山大学基金(現在総額6700万円)で行う「基盤事業」の中に「震災対策」を設定した。震災により影響を受けた学生の支援や南海地震を想定した防災対策の充実に充てる方向。お互いに情報共有をしつつ行うということで、これも方向性合意！

3. 前歴換算の見直し、異議申し立ての仕組みを確立すること。(後略)

組合からはこの問題での三者(大学、過半数代表委員、組合)によるワーキンググループの立ち上げを提案したが、合意に至らず。大学としては人事院規則に則って行っている。組合は人事院規則が実態にあわなくなってきたという認識。公式にワーキンググループを立ち上げることはできないが、組合側から提案があれば検討・協議はする。そのための資料・情報提供もする。

採用時に契約条件を明確に確認しないまま労働契約が行われることが問題であるという点は一致。各学部から全学の人事委員会に採用人事を上げるときに待遇についての提案をする、あるいは採用される者に契約条件を明示するなど、改善努力の余地がある点は確認。また、本学とは違う対応をしている国立大学法人があることも組合から指摘、その具体的方法について大学としての調査を依頼。

4. よりよい労働環境、学習環境を整備するために、①ハラスメント防止規定第5条第2項の実行、②保育室や授乳スペースの確保など、仕事と学業、家庭生活の両立を図ることができる労働環境の整備や気風づくりの喚起、③法定雇用率をクリアできる障害者雇用の促進、④学内のバリアフリー化や障害者雇用に関する教職員の理解促進を含む就業環境の整備、⑤障害者雇用、障害学生支援のための専任職員の配置やノートテイク養成講座の開講など、障害学生の支援、学内独自の奨学金制度による生活困窮学生への支援、などを具体化すること。

主として5月25日に事務方との間で行われた予備交渉で扱った。大学側が行っている具体的努力、今年度方針等について報告を受け、組合側も一定の提案を行い、基本的な方向性は共有できていることを確認。

5. 公立学校と附属学校教員との処遇・格差是正の一環として、①公立学校や奈良教育大学附属などですでに実現している、病休等に対する常勤講師による代替補充の保障、②和歌山県公立学校入試（公立学校、県立中学校）と同様の、平日実施の入試への手当支給、③講師の公立校並の時間給（和歌山県2780円）への引き上げなどを具体化すること。

大学側は制度的・予算的状况から難しいという立場を崩さず。組合は病休代替の問題は実際に業務に支障を来す点を指摘し、最終的には大学の判断が必要な問題であることから学部任せにしないことを求めるも、進展せず。附属のあり方そのものについての構想、県教委との人事交流制度の今後の見通し、現状の問題点などについて情報交換。

6. 臨時職員に対する正規職員への登用試験実施の際には、①推薦書をやめること、②受験回数の制限および再受験の期間的制限をやめること、③説明会を全体に行うなど、受験しやすい環境を整えること。

大学としては大きな支障があるとは考えていないとのこと。説明会はまだ受験資格のない人も含めて広く参加している。大学の職員の年齢・性別構成のこともあり、登用試験を毎年実施するかどうかについても検討しているとのこと。

組合としては今後受験者や受験希望者からさらに要望を聞き、現行制度の要改善点・問題点をより明確にするとともに、登用試験の毎年実施自体が確実ではないことが明らかになったので、その点でも対応を考える必要がある。

附属校の組合員さんにお話を聞いてきました！

執行委員会では5月に附属校（11日特別支援学校、26日小・中学校）にうかがい、職場会に参加させていただきました。栄谷とは職場も離れており、日々お忙しい中、なかなかゆっくりとお話しをうかがう機会がもてずにきていますが、両日は（未組合員さんもまじえて）職場の状況、大学への要求などをゆっくりと聞かせていただくことができました。ご参加いただいた先生方、ありがとうございました！

附属特別支援学校で出された主な声

- ・病休の代替に現在は29時間の非常勤講師しか手当してもらえない。担任をしている教諭の代替なのだから、常勤の講師でないと負担が増す。
- ・産休に入る前の教諭に対し、公立校では介助員がついている。大学でもぜひつけてほしい…。
- ・休日出勤がけっこう多い。その分は「振替」をとったことにしているが、実際には休めない。
- ・宿泊を伴う行事などの際、宿泊手当が安すぎる。
- ・卒業生の就労枠を広げてほしい。就労した人についても、その後のケアが必要。夏休みに職業体験のために大学を訪れるが、その際学内に「拠点」がほしい。

附属小中で出された主な要望

- ・とにかく勤務時間が長い！ 会議、ニュースレターの作成、HPの更新など、20時を過ぎてから翌日の授業準備にかかることが常態…。授業研究も本当に子どもたちのためになっているのか、疑問もある。
- ・特任教諭を配置してくれるのはいいが、新卒すぐの人であまり頼れなかったり、かえって負担が増す場合も…。やはり常勤教諭の人数が足りない。
- ・休日のクラブ引率などに伴う特殊業務手当は出ないのか…
- ・公開研は全員が毎年やる必要があるのか…？ 学年ごと、教科ごとで数年のローテーションにできないか。
- ・県立との給与格差、あるなら実態をしっかり把握したい。

執行委員会ではこうした声を重要なものと受け止め、今後さらに活発に附属校との交流を行っていくとともに、学長だけではなく教育学部長や附属校長とも積極的に（附属の先生方も来られる場で）懇談・対話の場をもっていきたいと考えています。

附属校の先生方、これまであまり存在を意識されなかったかも知れませんが、大学の組合は皆さんの組合でもあります！ 職場会等が開かれる際はぜひ（組合員・未組合員問わず）積極的にご参加下さい！

組合の仲間、増えてます！

この数年にない勢いで、4月から組合員数が増えています (^_^)v!

年度末の3月には数名の組合員さんが定年や異動で組合を去られました。が、その数をすでに十分(数倍!)上まわって、新しい教職員、フレッシュな仲間が増えています。

やはりこの数年の経済状況や大学の人件費カットの中で、「このままじゃどうなるか分からない」と不安を抱えている人も多いのでは。そんな中、執行委員などが声をかけるときちゃんと話を聞いて下さり、加入を前向きに考えて下さる方がとてもたくさんいらっしゃいます。

まだ組合に加入していない皆さん! 就職したら(正採用でも特任でも臨時職員でも)組合に入ることが、自分の生活と権利を守り、職場全体をよりよくしていくための有効な手段です。労働組合は憲法や労働法できちんと定められた団体です。和太職組は和太で唯一の組合で、働く者の立場から大学執行部とも対等に交渉や提言を行っています。

新年度の組合執行部はさらに組合員を増やすため、皆さんへの声かけに力を入れています。その際にはぜひ、そして声かけを待たずともぜひ、組合加入を積極的にご検討下さい!

組合に関するお問い合わせ : 和歌山大学教職員組合事務所

E-mail : wakumi@cypress.ne.jp

電話 : 073-452-3671 (栄谷の方は内線 7989)

組合 HP : <http://www.cypress.ne.jp/wakumi/index.html>

2011年6月7日 第90期労働学校会社のもうけと賃金コース」に参加してまとめと感想

講師

労働者とは生産手段を持たないため労働力を商品として売り、賃金を受け取って生活している人々であり、職種は違えども同じ働く仲間として共通するものがある。

社会の発展の歴史から見ると、原始的で平等な共同社会から階級社会に変化してきた。

現在の資本主義社会の特徴は

- ・ほとんどの労働生産物が商品として生産され、売買されている会社。
- ・労働生産物でない人間の労働力までが商品として売買されている社会。
- ・生産手段の私的所有者である資本家が利潤追求を目的・動機として生産手段を行っている社会。(利潤第一主義)

商品・労働には二重性があり、それは使用価値(具体的)と交換価値(抽象的)である。

交換価値とは等価で交換される価値であり、等しいということは全ての商品に含まれるただひとつの性質である。

商品の価値とは抽象的人間労働の量によって決まる。

そして、等価物の交換で成り立たない問題を一般的等価物=金(Au)で解決し始める。

これから先の講座で常に覚えておくこと・・・

“現象は本質ではない”

以上第1回の内容をまとめてみました。

ああ高校時代に勉強したなあ。「神の見えざる手」…とか。忘れないように(?)教科書の横にサルの手を落書きしたことも懐かしいです。あの頃はとりあえず丸覚えして深くは考えてなかったような。

学生の頃は美術作品の価値がどこで決定しているのか、付加価値や、流行の作られ方なども勉強したのですが、所詮学生の勉強でしかなく、物の価格や実際の労働の対価としての賃金って何!?!と感じたものです。

私が某メーカーの企画、デザインの仕事をしていたころの話。

製造業でするので自分のデザインのはコスト計算も大雑把ながら行っていました。それを基に生産部の者がランニングコスト、ロット数に見合ったコストに換えていく。といった流れです。商品の売値が3,980円だったとすると原価は¥500から¥600位だったと記憶しています。

営業さんの見る目が無いのか原価に忠実な会社だったのか、原価で売値が来まるのはおかしい。デザイナーの努力は価格には反映されていませんでした。

デザインされていない、又は古典的で何十年もデザインが変わらない物を生産するのはとてもシンプルですが、人材派遣やサービス業は時々理解不可能な価格設定をしていることがあります。

行った事はないけれど、行きたくもないけれど銀座の高級クラブ。ゴルフの会員権。そういったものはただ単に他者と違った世界にいるという優越感を得るためのものなののでしょうか?美術作品でも版画のエディションナンバー順に比例して価格が変化していくのも顕著な例だし、かつてはオサムシも高値で売買されていたそうです。前後翅が退化して飛べないので

うちの家庭菜園に山盛りのゴミムシがいるけれど1円にもなりません(笑)

では、次の講座も楽しみにしております。

2011年6月7日 第90期労働学校会社のもうけと賃金コース」に参加してまとめと感想

講師

労働者とは生産手段を持たないため労働力を商品として売り、賃金を受け取って生活している人々であり、職種は違っても同じ働く仲間として共通するものがある。

社会の発展の歴史から見ると、原始的で平等な共同社会から階級社会に変化してきた。

現在の資本主義社会の特徴は

- ・ほとんどの労働生産物が商品として生産され、売買されている会社。
- ・労働生産物でない人間の労働力までが商品として売買されている社会。
- ・生産手段の私的所有者である資本家が利潤追求を目的・動機として生産手段を行っている社会。(利潤第一主義)

商品・労働には二重性があり、それは使用価値(具体的)と交換価値(抽象的)である。

交換価値とは等価で交換される価値であり、等しいということは全ての商品に含まれるただひとつの性質である。

商品の価値とは抽象的人間労働の量によって決まる。

そして、等価物の交換で成り立たない問題を一般的等価物=金(Au)で解決し始める。

これから先の講座で常に覚えておくこと・・・

“現象は本質ではない”

以上第1回の内容をまとめてみました。

ああ高校時代に勉強したなあ。「神の見えざる手」…とか。忘備の為(?)教科書の横にサルの手を落書きしたことも懐かしいです。

学生の頃は美術作品の価値がどこで決定しているのか、付加価値や、流行の作られ方なども勉強したのですが、机上は机上の上でしかなく、働き始めるといろいろな矛盾を感じはじめました。

私が某メーカーの企画、デザインの仕事をしていたころ。

製造業ですので自分のデザインのもはコスト計算も大雑把ながら行っていました。それを基に生産部の者がランニングコスト、ロット数に見合ったコストに換えていく。といった流れです。商品の売値が 3,980 円だったとすると原価は¥500 から¥600 位だったと記憶しています。

営業さんの見る目が無いのか原価に忠実な会社だったのか、原価で売値が来まるのはおかしい。デザイナーの努力は価格には反映されていませんでした。

例えばデザインされていない、又は古典的で何十年もデザインが変わらない物を生産するのはとてもシンプルですが、人材派遣やサービス業は時々理解不可能な価格設定をしていることがあります。

行った事はないけれど、行きたくもないけれど銀座の高級クラブ。

ゴルフの会員権。そういったものは他社と違った世界にいるという優越感を得るためのものかもしれません。

美術作品でも版画のエディションナンバー順に比例して価格が変化していくのも顕著な例だし、かつてはオサムシも高値で売買されていたそうです。後翅が退化、飛べない虫ですが、各地で固有の進化を遂げたことがコレクターの心に火をつけたのでしょうか。(今でもコレクターが存在するそうで…うちの家庭菜園のゴミ虫だまし、差し上げますよ～。)

